

川柳三句

(進路部「進路ニュース〈3年〉」より)

センター試験も間近、本格的な受験シーズンいよいよ到来です。

すでに“受験生ハイ”のゾーンに入っている人、にわかな緊張の高まりで集中しきれない人、あるいはこの期に及んで実感の湧かない人、そういう様々な状況にある皆さんへ何を伝えたらよいのか。格調高い精神論は苦手なので、ささやかなアドバイスを川柳に託しました。なお、作品的クオリティの低さについてはご容赦を。

その一 「直前に 詰め込むならば 理科社会」

受験直前までジタバタ勉強するのは悪いことはありません。ただ、限られた時間の中でさらにもうひと伸びさせたいのなら、現実的には「理科・地歴・公民」です。直前まで詰め込みが効く、貴重な教科です。

その二 「国英数 確認・演習 もう一度」

理社の直前詰め込みがノッてくると、国英数にかかわる時間がもったいなく思われてきます。でも、これは危険。国英数の“勘”が鈍ります。本番で、なぜか英語の長文を目ですいすい追っかけられない、単語の意味が出てこないといった事態が発生することも。部活を1週間休むと勘が戻るまで少し時間がかかる、これと同じです。

その三 「本番は 開き直りと 集中力」

今までの努力と苦労を自信に変える。これができれば問題ないのですが、明らかにやり残したことがある、直前模試も結果が出なかった、実際はそんな受験生が圧倒的に多い。でも、さすがに受験本番でジタバタしても仕方ありません。

「持てる力を最大発揮」、これが肝心。

そのためには、開き直すことです。それが集中力を高めます。部活の大会やコンクールと同じです。

「鉛筆も わたしも尖る 受験の日」

でも皆さんは、尖らず、慌てず、腹を決めて当日に臨みましょう。

南高生の健闘を期待します。